



◀たのしく作業を行う児童たち

## 田植真っ盛り!!

JA青年部

「うわぁドロドロだ!」「足が抜けない!」子ども達の悲鳴にも似た歓声が田んぼに響き渡りました。JA青年部は、向能代小学校、淳城南小学校、第四小学校、二ツ井小学校の5年生を対象に田植え体験を行いました。

このうち、淳城南小学校は能代市鰯淵内の圃場で田植え体験を行いました。はじめに、自分たちで昔ながらの目印作りに挑戦しました。慣れない泥の中での作業でふらつきながらも上手に目印をつけることができました。それに沿って児童たちが苗を植えていきました。

体験した児童は「機械の無い時代はこういう風に植えていたのだと知りました。秋の収穫にはおいしいお米が出来ると思います。収穫が待ち遠しいです。」と話してくれました。



▲力を合わせて目印作り

## 収穫期を目前に防除徹底を呼びかける

JAキャベツ部会

JAキャベツ部会(工藤武一郎部会長)は5月27日、生育確認と今後の管理を検討するため、キャベツ現地研修会を実施しました。

約20名が参加した研修会では、JA営農指導員や山本地域振興局普及課職員らが、生産者の圃場を巡回し、生育状況などを確認・指導しました。巡回した普及課職員からは、「今年は雨が少なく干ばつ傾向になっている。水分不足によるカルシウム欠乏症の予防をしてもらいたい。また、病害虫の発生も早く、状況を確認しながら早めの病害虫防除をしてもらいたい。」と注意を呼び掛けました。生産者らは収穫を前に、今後の対応策について話し合いました。



▲生育状況を見て今後の管理を検討した



▲早めの防除を呼びかける担当者

## みょうがの収穫に向け栽培管理を確認

JAみょうが部会

JAあきた白神みょうが部会(工藤寿部会長)は6月1日、主力作物である白神みょうがの栽培講習会を能代市工業団地交流会館で開催し、生育状況や今後の管理について理解を深めました。

講習会には生産者やJA、山本地域振興局普及課職員など約30名が参加。今年は5月の気温の高い日が続いたことや少雨の影響により生育はやや早く、心配されていた軟腐病の発生は出ていないという調査結果がでました。普及課職員からは、「6月下旬からの株間引きと花芽分化する7月上・中旬から追肥を行うとともに、根茎腐敗病や葉枯病、軟腐病などの病害虫防除にも努めてほしい。」と呼びかけていました。

